

三井住友海上プライマリー生命の「投資型年金」

ダブルウィング

変額個人年金保険（災害死亡 30%型）

特別勘定運用レポート

（組入投資信託の運用状況）

特別勘定の名称	投資信託の名称	投資信託の運用会社	ページ
日本株式アクティブA	フィデリティ・日本成長株・ファンドVA4	フィデリティ投信株式会社	1
日本株式アクティブB	フィデリティ・日本小型株・ファンドVA4		2
日本株式インデックスA	日本株式インデックス・ファンド VA1	ステート・ストリート・グローバル・ アドバイザーズ株式会社	3
外国株式インデックスA	外国株式インデックス・ファンド VA1		4
ジャナス外国株式 ストラテジック	ジャナス・ストラテジック・バリュー・ ファンド	ジャナス・キャピタル・トラスト・マネジャー・ リミテッド	5
ジャナス外国株式 フォーティ	ジャナス・フォーティ・ファンド		6
外国債券インデックスA	外国債券インデックス・ファンド VA1	ステート・ストリート・グローバル・ アドバイザーズ株式会社	7
ジャナス外国債券 フレックス	ジャナス・フレキシブル・インカム・ファンド	ジャナス・キャピタル・トラスト・マネジャー・ リミテッド	8
ジャナス外国債券 ハイイールド	ジャナス・ハイイールド・ファンド		9
SMAM・バランス25 SMAM・バランス50 SMAM・バランス75	SMAM・バランスファンドVA25 SMAM・バランスファンドVA50 SMAM・バランスファンドVA75	三井住友DSアセットマネジメント株式会社	10
マザーファンドの状況			11
ジャナス・バランス	ジャナス・バランス・ファンド	ジャナス・キャピタル・トラスト・マネジャー・ リミテッド	13
グローバル不動産投信	ジャナス・グローバル・リアルエステート・ ファンド		14
マネーA	フィデリティ・マネー・プールVA	フィデリティ投信株式会社	15

三井住友海上プライマリー生命

MS&AD INSURANCE GROUP

特別勘定運用レポートをご覧くださいにあたって

当資料をご覧ください際にご留意いただきたい事項

- ・当資料は既に当商品にご加入されたご契約者に対し、三井住友海上プライマリー生命のダブルウィング〔変額個人年金保険（災害死亡 30%型）〕の特別勘定および特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の運用状況を開示するためのものです。なお、商品の詳細につきましては、商品パンフレット、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をご覧ください。
- ・当資料に記載されている運用実績等に関する情報は過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、[組入投資信託の運用状況]に記載されているコメント等は当資料作成時点の見解に基づくものであり、予告なく変更されることがあります。
- ・[組入投資信託の運用状況]は、運用会社が作成する運用報告を三井住友海上プライマリー生命が参考情報としてそのまま提供するものであり、内容に関しては、三井住友海上プライマリー生命の責めによるものを除き、三井住友海上プライマリー生命は一切の責任を負いません。

この保険商品についてご確認ください事項

■市場リスクについて

この保険は、払込みいただいた保険料を投資信託等を投資対象としている特別勘定で運用し、その運用実績に基づいて将来の死亡保険金額、解約払戻金額、および年金額等が変動（増減）するしくみの生命保険商品です。特別勘定の資産は、主に国内外の株式・債券等に投資する投資信託を通じて運用されるため、株価や債券価格の下落、為替の変動等により、解約払戻金等のお受取りになる合計額が払込まれた保険料を下回る可能性があり、損失が生じるおそれがあります。これらの特別勘定の運用に伴うリスクはすべてご契約者に帰属します。

■ご負担いただく費用について

この保険では、保険関係費および資産運用関係費等をご負担いただきます。また、一定期間内にご契約を解約・一部解約する場合には、所定の解約控除がかかります。詳しくは次ページ「諸費用について」をご参照ください。

■その他

- ・変額個人年金保険は特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、ご契約者が投資信託を直接保有するものではありません。
- ・特別勘定のユニットプライスの値動きは、特別勘定が投資対象とする投資信託の値動きと必ずしも一致しません。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有することがあることや、ユニットプライスの計算に当たり保険関係費等の費用を控除すること等によるものです。

諸費用について

この保険の費用の合計は、以下の費用の合計額となります。

積立期間中にご負担いただく費用

1. すべてのご契約者にご負担いただく費用

下記の費用を控除した上で、ユニットプライスは計算されます。

項 目	目 的	費 用	時 期
保険関係費	当保険契約の締結および維持などに必要な費用ならびに死亡保険金・災害死亡保険金等を支払うための費用	積立金額に対して年率 2.30%	積立金額に対して左記の年率の 1/365 を乗じた金額を毎日控除します。
資産運用関係費	投資信託の信託報酬など、特別勘定の運用にかかわる費用	特別勘定ごとに異なります。詳しくは下記をご覧ください。	各特別勘定の資産残高に対して所定の年率の 1/365 を乗じた金額を毎日控除します。

特別勘定の名称	資産運用関係費 (消費税込 年率)	特別勘定の名称	資産運用関係費 (消費税込 年率)	特別勘定の名称	資産運用関係費 (消費税込 年率)
日本株式アクティブ A	1.298%程度	ジャナス外国株式 フォーティ ^{*1} _{*2}	1.5%程度 ^{*4}	SMAM・バランス 50 ^{*6}	0.33%程度
日本株式アクティブ B	1.408%程度	外国債券 インデックス A	0.308%程度	SMAM・バランス 75 ^{*6}	0.33%程度
日本株式インデックス A	0.275%程度	ジャナス外国債券 フレックス ^{*1}	0.85%程度 ^{*4}	ジャナス・バランス ^{*1}	1.25%程度 ^{*4}
外国株式インデックス A	0.418%程度	ジャナス外国債券 ハイイールド ^{*1}	1%程度 ^{*4}	グローバル不動産投信 ^{*1} _{*3}	1.25%程度 ^{*4}
ジャナス外国株式 ストラテジック ^{*1}	1.5%程度 ^{*4}	SMAM・バランス 25 ^{*6}	0.33%程度	マ ネ ー A	0.00935%~ 0.55%程度 ^{*5}

- * 1 2005 年 7 月 1 日より追加設定されました。 * 2 2017 年 12 月 15 日、「ジャナス外国株式トゥエンティ」より名称変更されました。
 * 3 2007 年 7 月 1 日、「ジャナス米国不動産投信」より名称変更されました。
 * 4 資産運用関係費は、特別勘定が主な投資対象とする投資信託にかかりますが、当該投資信託は外国投資信託であるため、国内では消費税はかかりません。
 * 5 前月の最終営業日を除く最終 5 営業日間における無担保コール翌日物レートの平均値に応じた率を用いて各月ごとに決定するため、上限と下限のみを記載しております。
 * 6 2015 年 12 月 14 日、「レグ・メイソン・セレクト 30 / 50 / 70」より変更されました。



ご注意

- 資産運用関係費は信託報酬（管理報酬）を記載しています。この他、信託財産留保額、有価証券の売買手数料、運用関連の税金、監査費用等がかかる場合がありますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。これらの費用は特別勘定がその保有資産から負担するため、特別勘定のユニットプライスに反映されることとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。
- 資産運用関係費は、運用手法の変更、運用資産額の変動等の理由により、将来変更される可能性があります。

2. 下記のお取扱いの場合に別途ご負担いただく費用

特別勘定のユニットプライスを計算した後に特定の契約者にご負担いただきます。

項 目	費 用	時 期
積立金 移転手数料	1 保険年度に 15 回目までは無料 1 保険年度 16 回目以後の 移転について 2,500 円/回	移転時に積立金から控除します。
貸付利息	契約者貸付を受けるとき 貸付金額に対して年率 2.30%	年ごとの契約応当日に積立金から控除します。
解約控除	解約するとき 一部解約するとき	経過年数に応じて、 払込保険料総額に対して 1~8% 経過年数に応じて、 一部解約請求金額に対して 1~8% 解約時・一部解約時に積立金から控除します。

※ 一部解約請求金額が払込保険料総額を上回る場合には、解約控除対象額は払込保険料総額を上限とします。一部解約の際に解約控除対象額として取扱われた金額については、以後の解約控除対象額の計算の対象とする払込保険料総額から控除して取扱います。

※ 契約日（増額日）から 10 年未満で一般勘定で運用する定額年金へ変更した場合には、契約日（増額日）からの経過年数に応じた解約控除がかかります。

<解約控除率>

契約日（増額日） からの経過年数	1年未満	1年以上 2年未満	2年以上 3年未満	3年以上 4年未満	4年以上 5年未満	5年以上 6年未満	6年以上 7年未満	7年以上 8年未満	8年以上 9年未満	9年以上 10年未満	10年以上
解約控除対象額に 対する解約控除率	8%	8%	7%	7%	6%	5%	4%	3%	2%	1%	0%

年金支払期間中にご負担いただく費用

下記の年金管理費を年金支払開始日以後にご負担いただきます。（遺族年金支払特約による年金も含まれます。）

項 目	費 用	時 期
年金管理費	年金額に対して 1%	年金支払開始日以後、年金支払日に責任準備金から控除します。

※ 上記費用は上限です。なお、年金支払開始日時時点の費用を年金支払期間を通じて適用します。

- ① 主として日本株を投資対象とします。
 ② 個別企業分析により、成長企業を選定し、利益成長性等と比較して妥当と思われる株価水準で投資を行ないます。

設定来の運用実績 (2025年11月28日現在)



※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。ベンチマークはファンド設定日前日を10,000円として計算しています。※基準価額は運用管理費用控除後のものです。※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

コメント (2025年11月28日現在)

当月の東京株式市場は、好業績銘柄への物色が広がり、TOPIXは上昇が続きました。一方で、AI(人工知能)関連株の調整が重しとなり、日経平均株価は下落しました。これまでの上昇を受けた利食い売りや米ハイテク株安を背景としたAI関連株の急落により、日本株は軟調に始まりましたが、米連邦政府機関の再開期待や円安ドル高の進行、好決算銘柄への買いが下支えとなり、相場は次第に持ち直しました。AI関連株の影響が大きい日経平均株価の戻りは限定的だったものの、TOPIXは終値ベースで史上最高値を更新しました。その後、追加利下げに慎重なFRB(米連邦準備制度理事会)高官の発言を受け米利下げ観測が後退し、米国株が調整したことに加え、日中関係の悪化懸念も重しとなり、一時的に下値を模索する展開となりました。しかし、米半導体大手の好決算を受けて切り返すと、雇用や消費の減速を示す米経済指標の公表により利下げ観測が再び高まる中、好業績銘柄への物色が広がり、株価は底堅く推移して月を終えました。月間の騰落率は、TOPIX(配当込)が+1.42%、日経平均株価は-4.12%でした。

※上記コメントは、資料作成時点におけるもので将来の市場環境等の変動等を保証するものではありません。

ポートフォリオの状況 (マザーファンド・ベース)

資産別組入状況

株式	98.9%
新株予約権証券(ワラント)	-
投資信託・投資証券	-
現金・その他	1.1%

市場別組入状況

東証プライム	97.8%
東証スタンダード	0.7%
東証グロース	0.4%
その他市場	-

組入上位5業種

電気機器	24.7%
銀行業	10.6%
輸送用機器	7.6%
建設業	6.9%
情報・通信業	5.6%

(対純資産総額比率)

- * 各々のグラフ、表にある比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。
 * 業種は東証33業種に準じて表示しています。
 * 未払金等の発生により「現金・その他」の数値がマイナスになることがあります。

当資料は、情報提供を目的としたものであり、ファンドの推奨(有価証券の勧誘)を目的としたものではありません。本資料に記載の内容は将来の運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。当資料は、信頼できる情報をもとにフィデリティ投信が作成しておりますが、厳密な意味での正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。上記情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。

商品概要	
形態	追加型投信／国内／株式
投資対象	わが国の株式等
設定日	2002年9月20日
信託期間	原則無期限
決算日	原則、毎年11月30日(休業日のときは翌営業日)

累積リターン (2025年11月28日現在)						
	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	1.08%	10.48%	20.64%	26.89%	55.36%	459.00%
ベンチマーク	1.42%	10.92%	21.95%	29.17%	83.09%	466.72%

※累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された収益率です。

※ベンチマーク：TOPIX(配当込)

* TOPIX(配当込)は、日本の株式市場を広くに網羅するとともに投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出されており、配当を考慮したものです。

* 東証株価指数(TOPIX)(以下「TOPIX」という。)の指数値及びTOPIXに係る商標又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る商標又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIXの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。

過去5期分の収益分配金(1万口当たり／税込)

第19期(2020.11.30)	0円
第20期(2021.11.30)	0円
第21期(2022.11.30)	0円
第22期(2023.11.30)	0円
第23期(2024.12.02)	0円

純資産総額	0.5億円	(2025年11月28日現在)
-------	-------	-----------------

組入上位10銘柄 (マザーファンド・ベース) (2025年10月31日現在)			
	銘柄	業種	比率
1	日立製作所	電気機器	5.6%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	5.3%
3	ソニーグループ	電気機器	4.5%
4	トヨタ自動車	輸送用機器	3.6%
5	伊藤忠商事	卸売業	2.9%
6	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.6%
7	東京海上ホールディングス	保険業	2.4%
8	ソフトバンクグループ	情報・通信業	2.1%
9	きんでん	建設業	2.0%
10	キーエンス	電気機器	1.9%

(組入銘柄数：182)

 上位10銘柄合計 32.8%
 (対純資産総額比率)

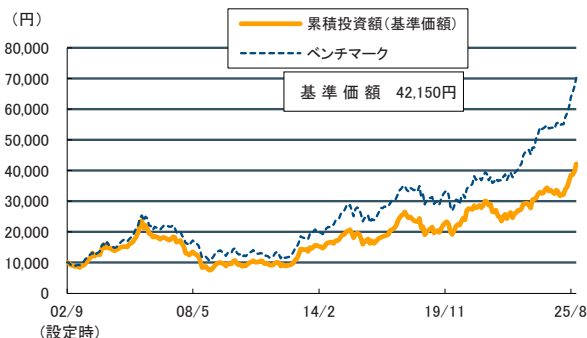
Fidelity フィデリティ投信株式会社
 INTERNATIONAL

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧くださいにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

- ① 日本国内の比較的規模の小さい企業の株式を主要な投資対象とします。
- ② 個別企業分析により、比較的規模の小さい高成長企業を選定し、利益成長性等と比較して妥当と思われる株価水準で投資を行ないます。

設定来の運用実績

(2025年11月28日現在)



※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。ベンチマークはファンド設定日前日を10,000円として計算しています。(設定から2003年8月末までは東証第二部株価指数(配当金込)、2003年9月から2009年2月末まではRussell/Nomura Small Capインデックス(配当金込)を連続させて指数化しております。)*※基準価額は運用管理費用控除後のものです。※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

コメント

(2025年11月28日現在)

当月の東京株式市場は、好業績銘柄への物色が広がり、TOPIXは上昇が続きました。一方で、AI(人工知能)関連株の調整が重しとなり、日経平均株価は下落しました。これまでの上昇を受けた利食い売りや米ハイテク株安を背景としたAI関連株の急落により、日本株は軟調に始まりましたが、米連邦政府機関の再開期待や円安ドル高の進行、好決算銘柄への買いが下支えとなり、相場は次第に持ち直しました。AI関連株の影響が大きい日経平均株価の戻りは限定的だったものの、TOPIXは終値ベースで史上最高値を更新しました。その後、追加利下げに慎重なFRB(米連邦準備制度理事会)高官の発言を受け米利下げ観測が後退し、米国株が調整したことに加え、日中関係の悪化懸念も重しとなり、一時的に下値を模索する展開となりました。しかし、米半導体大手の好決算を受けて切り返すと、雇用や消費の減速を示す米経済指標の公表により利下げ観測が再び高まる中、好業績銘柄への物色が広がり、株価は底堅く推移して月を終えました。

月間の騰落率は、TOPIX(配当込)が+1.42%、日経平均株価は-4.12%でした。Russell/Nomura Mid-Small Capインデックス(配当込)が+4.05%、東証グロース市場250指数は-2.11%となり、新興市場は調整が続きました。

※上記コメントは、資料作成時点におけるもので将来の市場環境等の変動等を保証するものではありません。

ポートフォリオの状況 (マザーファンド・ベース)

(2025年10月31日現在)

資産別組入状況	
株式	98.2%
新株予約権証券(ワラント)	-
投資信託・投資証券	-
現金・その他	1.8%

市場別組入状況	
東証プライム	88.0%
東証スタンダード	6.2%
東証グロース	4.0%
その他市場	-

組入上位5業種	
電気機器	9.7%
化学	7.4%
卸売業	6.5%
情報・通信業	6.4%
小売業	6.1%

(対純資産総額比率)

- * 各々のグラフ、表にある比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。
- * 業種は東証33業種に準じて表示しています。
- * 未払金等の発生により「現金・その他」の数値がマイナスになることがあります。

当資料は、情報提供を目的としたものであり、ファンドの推奨(有価証券の勧誘)を目的としたものではありません。本資料に記載の内容は将来の運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。当資料は、信頼できる情報をもとにフィデリティ投信が作成しておりますが、厳密な意味での正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。上記情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。

商品概要	
形態	追加型投信/国内/株式
投資対象	わが国の小型株式等
設定日	2002年9月20日
信託期間	原則無期限
決算日	原則、毎年11月30日(休業日のときは翌営業日)

累積リターン

(2025年11月28日現在)

	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	6.03%	9.42%	24.37%	29.84%	59.97%	321.50%
ベンチマーク	4.05%	9.81%	22.27%	31.00%	78.12%	602.04%

※累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された収益率です。
※ベンチマーク: Russell/Nomura Mid-Small Capインデックス*(配当金込)
(但し、設定から2003年8月末までは東証第二部株価指数(配当金込)、2003年9月から2009年2月末まではRussell/Nomura Small Capインデックス(配当金込)でした。)
※累積リターンは、2003年8月末までの東証第二部株価指数(配当金込)、2009年2月末までのRussell/Nomura Small Capインデックス(配当金込)、及び現在のベンチマークの騰落率を連続させて計算しております。
*Russell/Nomura Mid-Small Cap インデックスとは、Russell/Nomura日本株インデックスの中小型株指数です。
Russell/Nomura Total Market インデックスの時価総額中位35%と時価総額下位15%をカバーし、Russell/Nomura Mid-Small Cap Growth インデックスおよびRussell/Nomura Mid-Small Cap Value インデックスを含みます。
Russell/Nomura Mid-Small Cap インデックスの知的財産権およびその他の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社およびFrank Russell Companyに帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社およびFrank Russell Companyは、Russell/Nomura Mid-Small Cap インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当ファンドの設定の可否、運用成果等並びに当ファンド及びRussell/Nomura Mid-Small Cap インデックスに関連して行われる当社のサービス提供等の行為に関して一切責任を負いません。

過去5期分の収益分配金(1万口当たり/税込)

第19期(2020.11.30)	0円
第20期(2021.11.30)	0円
第21期(2022.11.30)	0円
第22期(2023.11.30)	0円
第23期(2024.12.02)	0円

純資産総額

0.3 億円

(2025年11月28日現在)

組入上位10銘柄 (マザーファンド・ベース)

(2025年10月31日現在)

	銘柄	業種	比率
1	ふくおかフィナンシャルグループ	銀行業	2.6%
2	横浜フィナンシャルグループ	銀行業	2.5%
3	スズキ	輸送用機器	2.4%
4	T&Dホールディングス	保険業	2.0%
5	ヨネックス	その他製品	2.0%
6	大阪ソーダ	化学	2.0%
7	ANYCOLOR	情報・通信業	1.9%
8	富士電機	電気機器	1.9%
9	サイゼリヤ	小売業	1.8%
10	大阪瓦斯	電気・ガス業	1.8%

(組入銘柄数: 85)

上位10銘柄合計 20.9%

(対純資産総額比率)

日本株式インデックス・ファンドVA1＜適格機関投資家限定＞
月次運用報告書

追加型投信／国内／株式／インデックス型

2025年11月28日現在

設定・運用：

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

基準価額	41,454円
純資産総額	1,414百万円
銘柄数（マザーファンド）	1,667
マザー受益証券投資比率	100.0%
信託報酬率	0.275%（税抜0.25%）

マザー純資産総額	49,571百万円
β値	1.00
推定トラッキングエラー	0.01%

<商品の特色>

◆投資目的

日本の証券取引所に上場されている株式を投資対象とした「日本株式インデックス・マザーファンド」受益証券に投資することにより、中長期的にTOPIX（東証株価指数、配当込み）の動きに連動した投資成果の獲得をめざして運用を行うことを基本とします。

◆投資対象

日本株式インデックス・マザーファンド受益証券を主たる投資対象とします。

<11月の市場概況>

11月の国内株式市場は、上旬から中旬にかけて人工知能(AI)関連銘柄や相場の割高感に加えて、日中関係の悪化懸念も重荷となる中、軟調な展開となりました。その後は米追加利下げ観測を受けた米株高が相場を支える中、反発した結果、月間で上昇しました。TOPIX指数は前月末比1.40%上昇し、3378.44ポイントで終了しました。（配当込みTOPIX指数は1.42%の上昇でした。）

上旬は、米連邦政府機関の一部閉鎖の解除期待が相場を支えましたが、AI関連銘柄の割高感や相場の過熱感を意識した売りが重荷となる中、下落しました。

中旬は、米連邦政府機関の一部閉鎖の解除期待や米エヌビディアの好決算が相場を支えましたが、米利下げ観測の後退を背景にした米株安や日中関係の悪化懸念が重荷となる中、下落しました。

下旬は、米追加利下げ観測を受けた米株高が相場を支える中、上昇しました。

基準価額騰落率	設定来	1年間	
(税引前分配金込)	314.54%	28.77%	
騰落率			
	ファンド	ベンチマーク	差
1ヶ月	1.39%	1.42%	-0.03%
3ヶ月	10.82%	10.92%	-0.09%
6ヶ月	21.76%	21.95%	-0.18%
1年	28.77%	29.17%	-0.40%
2年	48.23%	49.24%	-1.01%
3年	80.92%	83.09%	-2.17%
設定来	314.54%	350.46%	-35.92%

設定来の基準価額(税引前分配金込)の推移

2025年11月28日現在



注：ベンチマーク（TOPIX（東証株価指数、配当込み））は、2004年6月10日を10,000として換算し直しています。

上位5業種構成比※

業種	比率
電気機器	17.76%
銀行業	9.43%
卸売業	7.16%
情報・通信業	7.01%
輸送用機器	6.49%

分配実績(税引前)

決算期	分配金
第17期(2021年3月5日)	0円
第18期(2022年3月7日)	0円
第19期(2023年3月6日)	0円
第20期(2024年3月5日)	0円
第21期(2025年3月5日)	0円

上位20銘柄※

銘柄名	業種	比率
1 トヨタ自動車	輸送用機器	3.34%
2 ソニーグループ	電気機器	3.16%
3 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.07%
4 日立製作所	電気機器	2.56%
5 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.04%
6 任天堂	その他製品	1.68%
7 ソフトバンクグループ	情報・通信業	1.62%
8 三菱商事	卸売業	1.56%
9 みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.53%
10 三菱重工業	機械	1.50%
11 東京エレクトロン	電気機器	1.35%
12 伊藤忠商事	卸売業	1.33%
13 アドバンテスト	電気機器	1.30%
14 三井物産	卸売業	1.26%
15 リクルートホールディングス	サービス業	1.22%
16 東京海上ホールディングス	保険業	1.12%
17 キーエンス	電気機器	1.06%
18 三菱電機	電気機器	0.94%
19 HOYA	精密機器	0.90%
20 NTT	情報・通信業	0.86%

※マザーファンド純資産総額対比

○本資料は金融商品取引法上及び投信法上の開示書類ではありません。

○本資料は、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社（以下「弊社」とします）が当ファンドの情報提供を目的として作成したものであり、投資の勧誘を目的とするものではありません。

○本資料中の過去の運用実績に関するグラフ・数値等は将来の成果をお約束するものではありません。また、市場概況等は本資料作成時点の弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。

○本資料の内容は作成日現在のものであり、将来予告なく変更することがあります。

○当ファンドは主に日本の株式に投資するため、組入れた株式の値動きにより基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託の商品特性上、上記以外のリスクもあります。

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧くださいにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

外国株式インデックス・ファンドVA1(適格機関投資家専用)
月次運用報告書

追加型投信／海外／株式／インデックス型

設定・運用:

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

2025年11月28日現在

基準価額	109,036円
純資産総額	461百万円
銘柄数(マザーファンド)	1,155
マザー受益証券投資比率	100.0%
信託報酬率	0.418%(税抜0.38%)
マザー純資産総額	422,592百万円
β値	1.00
推定トラッキングエラー	0.01%

＜商品の特色＞

◆投資目的

日本を除く世界の主要国の株式を投資対象とした「外国株式インデックス・オープン・マザー・ファンド」受益証券に投資することにより、中長期的に日本を除く世界の主要国の株式市場(MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース))の動きに連動した投資成果の獲得をめざして運用を行うことを基本とします。

◆投資対象

外国株式インデックス・オープン・マザー・ファンド受益証券を主たる投資対象とします。

＜11月の市場概況＞

11月の外国株式市場は、米追加利下げ観測が相場を支えました。米景気の不透明感や人工知能(AI)関連銘柄の割高感に加えて、オーストラリアの利下げ観測後退も重荷となる中、方向感に欠ける展開となりました。

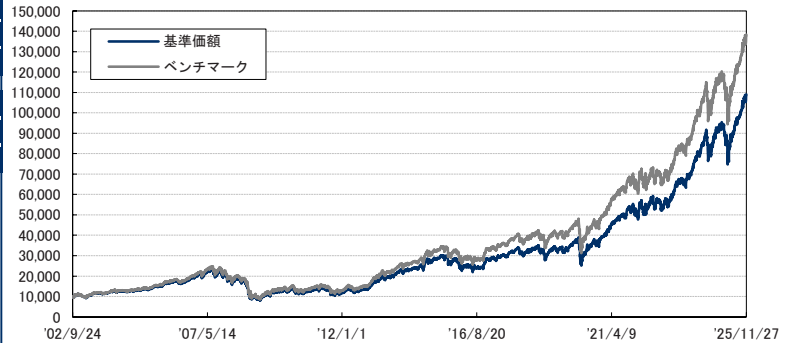
米国市場は、上旬から中旬にかけて米景気の不透明感、AI関連銘柄や相場の割高感が重荷となる中、軟調な展開となりましたが、その後は低調な米経済指標を受けた米追加利下げ観測を背景に反発しました。ダウ平均は47,716.42(前月比+0.32%)、ナスダック総合指数は23,365.69(前月比-1.51%)、S&P500指数は6,849.09(前月比+0.13%)で終了しました。

欧州市場は、上旬から中旬にかけてAI関連銘柄や相場の割高感から米株が軟調となったことが重荷となりました。その後は米追加利下げ観測を受けた米株高が相場を支える中、反発しましたが、月間では方向感に欠ける展開となりました。英FTSE100指数は9,720.51(前月比+0.03%)、仏CAC40指数は8,122.71(前月比+0.02%)、独DAX指数は23,836.79(前月比-0.51%)で終了しました。

アジア市場は、オーストラリア市場は国内の堅調な雇用やインフレを受けた利下げ観測の後退から下落しました。香港市場は中国当局による政策期待が相場を支えましたが、中国景気や米中関係の不透明感が重荷となりました。豪ASX200指数は8,614.07(前月比-3.01%)、香港ハンセン指数は25,858.89(前月比-0.18%)で終了しました。

11月の外国為替市場は、日銀の利上げ観測や米利下げ観測が円買い・ドル売り材料となりました。米連邦政府機関の一部閉鎖の解除期待や高市早苗政権による財政拡張懸念を背景に円安・ドル高が進行しました。ユーロやその他主要国通貨に対しても概ね円安の展開となりました。円は対米ドルで月間1.64%下落の156.63円となりました。

MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)パフォーマンスは前月比+1.61%となりました。

設定来の基準価額(税引前分配金込)の推移
2025年11月28日現在

注：ベンチマークは、MSCIコクサイ・インデックス(配当込み)のデیلیー・リターンをTTM レートで円換算し、2002年9月23日を10,000 として換算し直しています。

信託財産構成比率

項目	国名	2025/11/28	分配実績(税引前)
外国株式	【全体】	96.0%	第9期 (2010.11.30) 0円
	＜北米＞	77.0%	第10期 (2011.11.30) 0円
	アメリカ	73.6%	第11期 (2012.11.30) 0円
	カナダ	3.4%	第12期 (2013.12.2) 0円
	＜アジア・太平洋＞	2.5%	第13期 (2014.12.1) 0円
	オーストラリア	1.6%	第14期 (2015.11.30) 0円
	香港	0.5%	第15期 (2016.11.30) 0円
	シンガポール	0.4%	第16期 (2017.11.30) 0円
	ニュージーランド	0.0%	第17期 (2018.11.30) 0円
	＜ヨーロッパ＞	16.2%	第18期 (2019.12.2) 0円
	イギリス	3.6%	第19期 (2020.11.30) 0円
	フランス	2.7%	第20期 (2021.11.30) 0円
	ドイツ	2.4%	第21期 (2022.11.30) 0円
	スイス	2.3%	第22期 (2023.11.30) 0円
	オランダ	1.2%	第23期 (2024.12.2) 0円
	イタリア	0.8%	
	スペイン	0.9%	
	スウェーデン	0.9%	
	フィンランド	0.3%	
	ベルギー	0.3%	
	アイルランド	0.1%	
	デンマーク	0.5%	
	ルーマニア	0.1%	
	ポルトガル	0.1%	
	オーストリア	0.1%	
	＜アフリカ・中東＞	0.3%	
	イスラエル	0.3%	
その他(現金及び株価指数先物)		4.0%	

基準価額騰落率	設定来	1年間
【税引前分配金込】	990.36%	20.80%
騰落率		
	ファンド	ベンチマーク
1ヶ月	1.56%	1.61%
3ヶ月	11.29%	11.46%
6ヶ月	23.91%	24.32%
1年	20.80%	21.75%
2年	58.56%	61.06%
3年	92.86%	97.53%
設定来	990.36%	1283.29%

上位10銘柄※

	銘柄名	投資国名	業種名称	比率
1	NVIDIA CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	5.4%
2	APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	5.1%
3	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	4.3%
4	AMAZON COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス流通・小売り	2.7%
5	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	メディア・娯楽	2.3%
6	BROADCOM INC	アメリカ	半導体・半導体製造装置	2.2%
7	ALPHABET INC-CL C	アメリカ	メディア・娯楽	1.9%
8	META PLATFORMS INC-A	アメリカ	メディア・娯楽	1.7%
9	TESLA INC	アメリカ	自動車・自動車部品	1.5%
10	ELI LILLY AND COMPAN	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	1.1%

※マザーファンド純資産総額対比

○本資料は金融商品取引法上及び投信法上の開示書類ではありません。
○本資料は、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社(以下「弊社」とします)が当ファンドの情報提供を目的として作成したものであり、投資の勧誘を目的とするものではありません。
○本資料中の過去の運用実績に関するグラフ・数値等は将来の成果をお約束するものではありません。また、市場概況等は本資料作成時点の弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。
○本資料の内容は作成日現在のものであり、将来予告なく変更することがあります。
○当ファンドは主に外国の株式に投資するため、組入れた株式の値動きおよび為替変動により基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託の商品特性上、上記以外のリスクもあります。

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧くださいにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

ファンドの主な特徴

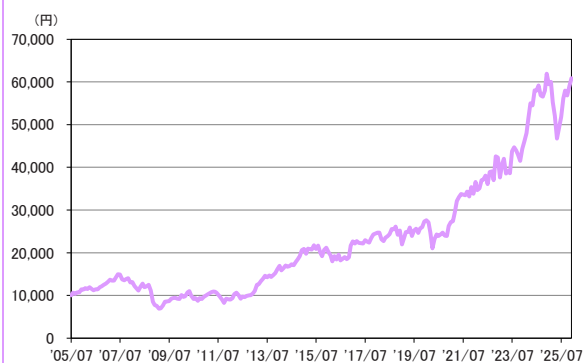
当ファンドは、アンダーライニング・ファンド^{*}への投資を通して、米国の中小型株式を実質的な主要投資対象とします。

- ① 主に米国の中小型割安(バリュー)株式に幅広く投資します。
- ② 企業の本源的価値に対して、割安な価格で取り引きされていると判断する株式を選定します。
- ③ 株価の下落余地と上昇余地を厳格に分析し、リスクを低減しつつ、収益の獲得を目指します。

^{*} 当ファンドのアンダーライニング・ファンドは、ジャナス・ヘンダーソン・キャピタル・ファンド ジャナス・ヘンダーソン・USスモール・ミッド・キャップ・バリュー・ファンドです。

基準価額 (2025年11月30日現在) 60,826円

基準価額の推移 (2025年11月30日現在)



運用実績 (2025年11月30日現在)

	1カ月	3カ月	6カ月	1年	設定来
ファンド	3.23%	4.92%	23.45%	-1.77%	508.26%

当ファンドの基準価額と運用実績は管理報酬等控除後のものです。

地域別構成比率 (2025年10月31日現在)

(対組入証券時価総額)	
北米	97.74%
ヨーロッパ	2.26%
アジア・太平洋	—
その他	—

^{*} 業種は、GICS(世界産業分類基準)に基づきます。

^{*} 2 小数点以下第3位で四捨五入して表示しているため、合計は必ずしも一致しません。

ファンドの概要 (2025年10月31日現在)

形態	アイルランド籍オープンエンド契約型外国投資信託
設定日	2005年7月1日
純資産総額	164百万米ドル
保有銘柄数	50銘柄

株式組入上位10銘柄 (対組入株式時価総額) (2025年10月31日現在)

銘柄	業種 ^{*1}	比率 ^{*2}
ヘリオス・テクノロジーズ	資本財・サービス	3.08%
アライアント・エナジー	公益事業	2.97%
フルトン・ファイナンシャル	金融	2.93%
ボンティエ	情報技術	2.93%
クエーカー・ケミカル	素材	2.72%
アグリス・キャピタル・ホールディングス	金融	2.66%
アグリー・リアルティ	不動産	2.64%
セレクトィフ・インシュアランス・グループ	金融	2.64%
リンカーン・エレクトリック・ホールディングス	資本財・サービス	2.62%
リテルヒューズ	情報技術	2.60%
上位10銘柄の合計		27.79%

業種別構成比率^{*1} (2025年10月31日現在)

(対組入株式時価総額)	
金融	22.98%
資本財・サービス	19.94%
情報技術	12.64%
一般消費財・サービス	9.87%
素材	9.62%
不動産	7.17%
ヘルスケア	6.57%
エネルギー	4.61%
生活必需品	3.63%
公益事業	2.97%
コミュニケーション・サービス	—

運用コメント

(2025年10月31日現在)

【市場概況】 10月の米国中小型割安株式市場はわずかに下落しました。

上旬は、米雇用関連指標が労働市場の減速を示唆したことで利下げ観測が強まる中、市場は緩やかに上昇しました。しかし、米政府機関の一部閉鎖が長引くとの懸念や、中国によるレアアース輸出規制の発表を受けて米中貿易摩擦への警戒が高まると、市場は反落しました。中旬は、米地銀の信用不安が浮上したことで銀行関連株を中心に売りが広がる場面もありましたが、米中貿易摩擦への警戒が一服したこと米国企業の決算が概ね好調だったことが投資家心理を支え、市場は概ね上昇基調で推移しました。下旬は、米消費者物価指数(CPI)の下振れを受けて利下げ観測が再び強まり、市場は続伸しました。しかし、米連邦準備制度理事会(FRB)が利下げを決定後、パウエル議長が追加利下げは既定路線ではないとの認識を示したことで利下げ継続期待が後退し、市場は下落しました。

【運用概況】 当月の当ファンドのリターンは米ドルベースでマイナスとなりました。資本財・サービスや情報技術セクターなどがプラスに寄与した一方、金融や生活必需品セクターなどがマイナスに影響しました。

【運用方針】 米国では、労働市場の減速とインフレ率の高止まりを背景に低所得者層の消費が弱含む一方、不動産などの資産価値や株式市場の上昇に支えられた中・高所得層の消費は堅調です。また、景気の先行指標とされる輸送業に弱さが見られるものの、人工知能(AI)やデータセンター関連の投資は拡大しています。関税を巡る不透明感の後退や利下げ継続の可能性、税制面での景気刺激策も市場を下支えています。このような中、AI関連銘柄への期待が引き続き米国株式市場を牽引する一方、他の魅力的な投資機会が見過ごされていると見て、中小型株投資の好機と捉えています。当ファンドは、優れた経営陣のもとで安定した収益を上げ、低い負債比率を維持する、質の高い割安企業に注目しています。こうした企業は、経済環境に左右されにくく、持続的な成長が期待できると考えます。今後も、市場上昇時のリターン獲得を目指すとともに、下落局面では、下落リスクの予測や分析に基づいて損失を最小限に抑えることを目指す運用を行っていく方針です。

上記運用コメントは実質的な運用を行うアンダーライニング・ファンドに係る説明を含みます。当資料は作成時点の見解であり、将来の市場環境の変動等により上記運用方針が変更される場合があります。

「基準価額」、「基準価額の推移」、「運用実績」、「ファンドの概要」のうち「形態」および「設定日」を除く情報は、アンダーライニング・ファンドのものであります。

当資料中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、提供された情報の正確性、完全性、適時性について保証するものではなく、それを使用したことによる結果について何ら保証するものではありません。当資料中の情報は、示された日付現在までのみ更新されたものです。いかなる分析、意見、試算、または予測についても、予告なくこれを変更することがあります。当資料は、ファンドの運用状況の情報提供を目的に、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・ヨーロッパ・エスエーが作成したものであり、有価証券についての投資助言または有価証券の売買の募集・勧誘をするものではありません。

特別勘定の名称：ジャナス外国株式フォーティ

ジャナス・フォーティ・ファンド

ダブルウィング

ファンドの主な特徴

当ファンドは、アンダーライニング・ファンド^{*}への投資を通して、米国株式を実質的な主要投資対象とします。

- ① 主に米国の大型成長株式に投資します。
- ② 徹底した個別企業のリサーチに基づき、20～40銘柄程度をポートフォリオの中核として集中投資します。
- ③ 革新性があり、中長期的に高い成長可能性を持つと考える銘柄を選好します。

^{*} 当ファンドのアンダーライニング・ファンドは、ジャナス・ヘンダーソン・キャピタル・ファンド ジャナス・ヘンダーソン・USフォーティ・ファンドです。

基準価額 (2025年11月30日現在) 137,754円

基準価額の推移

(2025年11月30日現在)



運用実績

(2025年11月30日現在)

	1か月	3か月	6か月	1年	設定来
ファンド	-0.52%	11.60%	28.57%	19.84%	1277.54%

当ファンドの基準価額と運用実績は管理報酬等控除後のものです。

地域別構成比率

(2025年10月31日現在)

(対組入証券時価総額)	
北米	90.68%
ヨーロッパ	2.06%
アジア・太平洋	5.04%
その他	2.22%

^{*} 1 業種は、GICS(世界産業分類基準)に基づきます。^{*} 2 小数点以下第3位で四捨五入して表示しているため、合計は必ずしも一致しません。

ファンドの概要

(2025年10月31日現在)

形態	アイルランド籍オープンエンド契約型外国投資信託
設定日	2005年7月1日
純資産総額	1,464百万米ドル
保有銘柄数	30銘柄

株式組入上位10銘柄 (対組入株式時価総額)

(2025年10月31日現在)

銘柄	業 種 ^{*1}	比 率 ^{*2}
エスビディア	情報技術	10.21%
マイクロソフト	情報技術	9.68%
アマゾン・ドット・コム	一般消費財・サービス	8.81%
ブロードコム	情報技術	6.58%
オラクル	情報技術	5.74%
アップル	情報技術	5.18%
台湾積体回路製造[TSMC/台湾セミコンダクター]	情報技術	5.04%
アルファベット	コミュニケーション・サービス	4.81%
マスターカード	金融	3.35%
イーライリリー・アンド・カンパニー	ヘルスケア	3.21%
上位10銘柄の合計		62.60%

業種別構成比率^{*1}
(対組入株式時価総額)

(2025年10月31日現在)

情報技術	49.31%
一般消費財・サービス	17.23%
ヘルスケア	10.33%
資本財・サービス	7.36%
金融	7.15%
コミュニケーション・サービス	7.06%
生活必需品	1.56%
エネルギー	—
素材	—
公益事業	—
不動産	—

運用コメント

(2025年10月31日現在)

【市場概況】 10月の米国大型成長株式市場は上昇しました。上旬は、米雇用関連指標が労働市場の減速を示唆したことで利下げ観測が強まった一方、米政府機関の一部閉鎖が長引く可能性やハイテク関連株への警戒感が重なり、上値の重い展開が続きました。その後、中国によるレアアース輸出規制の発表を受けて米中貿易摩擦への懸念が高まり、市場は下落しました。中旬は、米地銀の信用不安が浮上し銀行関連株を中心に売りが広がる場面も見られましたが、米中貿易摩擦懸念が一服したことなどが投資家心理を支え、市場は概ね上昇基調を維持しました。下旬は、米消費者物価指数(CPI)の下振れを受けて利下げ観測が再び強まり、主要ハイテク株が最高値を更新する中、市場は続伸しました。しかし、米連邦準備制度理事会(FRB)が利下げを決定した後、パウエル議長が追加利下げは既定路線ではないとの認識を示したことで利下げ継続期待が後退すると市場は下落し、それまでの上昇幅をやや縮小しました。

【運用概況】 当月の当ファンドのリターンは米ドルベースでプラスとなりました。業種別では、情報技術やヘルスケア・セクターなどがプラスに寄与した一方、金融などがマイナスに影響しました。

【運用方針】 関税政策を巡る不透明感が後退し、米国経済は成長基調を維持しています。株価の上昇や一部業種での賃金の伸びが、高所得層を中心に消費を下支えしています。また、FRBの利下げ再開により経済成長の裾野が広がり、より幅広い企業に波及することが期待されます。このような環境下、AI、クラウドへの移行、デジタル化、ヘルスケア分野のイノベーション、リショアリング(生産拠点の国内回帰)などの長期的な成長テーマに注目しています。AI分野では、AIインフラを支えるデータセンターの建設が進む中、電力関連企業にも新たな投資機会が生まれています。こうした構造的な成長トレンドに沿った企業は、景気サイクルを超えて持続的な成長とシェア拡大が見込まれます。当ファンドは、マクロ経済や成長テーマの動向を注視しつつ、企業のビジネスモデルやファンダメンタルズの評価に取り組んでいきます。今後も、徹底した企業調査・分析に基づき、長期的な信託財産の成長を目的とした運用を行う方針です。

上記運用コメントは実質的な運用を行うアンダーライニング・ファンドに係る説明を含みます。当資料は作成時点の見解であり、将来の市場環境の変動等により上記運用方針が変更される場合があります。

「基準価額」、「基準価額の推移」、「運用実績」、「ファンドの概要」のうち「形態」および「設定日」を除く情報は、アンダーライニング・ファンドのものであります。

当資料中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、提供された情報の正確性、完全性、適時性について保証するものではなく、それを使用したことによる結果について何ら保証するものではありません。当資料中の情報は、示された日付現在までのみ更新されたものです。いかなる分析、意見、試算、または予測についても、予告なくこれを変更することがあります。当資料は、ファンドの運用状況の情報提供を目的に、ジャナス・ヘンダーソン・インベスチーズ・ヨーロッパ・エスエーが作成したものであり、有価証券についての投資助言または有価証券の売買の募集・勧誘をするものではありません。

YW-1125 (35) 1225 Japan Comp

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧くださいにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

外国債券インデックス・ファンドVA1＜適格機関投資家限定＞ 月次運用報告書

追加型投信／海外／債券／インデックス型
2025年11月28日現在

設定・運用：

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

基準価額	23,603円
純資産総額	157百万円
銘柄数（マザーファンド）	636
マザー受益証券投資比率	100.0%
信託報酬率	0.308%（税抜0.28%）

マザー純資産総額	90,356百万円
推定トラッキングエラー	0.01%

＜商品の特色＞

◆投資目的

日本を除く世界の主要国の公社債を投資対象とした「外国債券インデックス・マザー・ファンド」受益証券に投資することにより、中長期的に日本を除く世界の主要国の債券市場（FTSE世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース））の動きに連動した投資成果の獲得をめざして運用を行うことを基本とします。

◆投資対象

外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券を主たる投資対象とします。

＜11月の市場概況＞

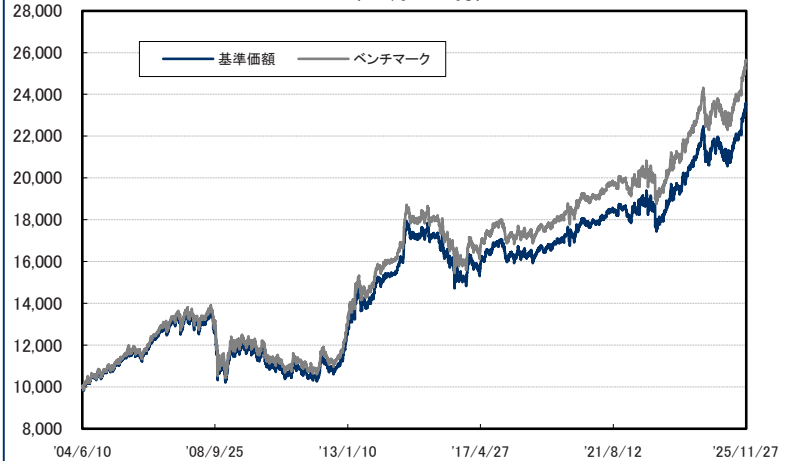
11月の海外債券市場は、米連邦政府機関の一部閉鎖の解除期待や欧州の利下げ終了観測が重荷となりましたが、低調な米経済指標や米連邦準備理事会（FRB）高官の発言を受けた米利下げ観測が相場を支えた結果、月間では米国で金利が低下した一方、欧州では債券の売りが優勢となりました。

米国市場は、米連邦政府機関の一部閉鎖の解除期待が債券の売り材料となりましたが、低調な米経済指標やFRB高官の発言を受けた米利下げ観測が相場を支える中、債券が買われました。米国10年国債利回りは前月末から0.06%低下の4.01%となりました。

欧州市場は、上旬から中旬にかけて米連邦政府機関の一部閉鎖の解除期待や欧州の利下げ終了観測、英国の財政悪化懸念を受けた英長期金利上昇などから債券が売られる展開となりました。その後は米利下げ観測や英国の財政不安後退が相場を支えましたが、月間では債券の売りが優勢となりました。独10年国債利回りは前月末から0.06%上昇の2.69%、英10年国債利回りは前月末から0.03%上昇の4.44%となりました。

設定来の基準価額（税引前分配金込）の推移

2025年11月28日現在



注：ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（除く日本）のデیلی・リターンをTTMレートで円換算し、2004年6月10日を10,000として換算し直しています。

分配実績（税引前）

第6期（2010.2.22）0円 第7期（2011.2.21）0円 第8期（2012.2.20）0円 第9期（2013.2.20）0円
第10期（2014.2.20）0円 第11期（2015.2.20）0円 第12期（2016.2.22）0円 第13期（2017.2.20）0円
第14期（2018.2.20）0円 第15期（2019.2.20）0円 第16期（2020.2.20）0円 第17期（2021.2.22）0円
第18期（2022.2.21）0円 第19期（2023.2.20）0円 第20期（2024.2.20）0円 第21期（2025.2.20）0円

通貨別構成比※

通貨	比率
米ドル	46.19%
ユーロ	29.35%
中国人民元	11.60%
英ポンド	5.69%
カナダドル	2.00%
その他	4.87%

残存年数別構成比※

残存年数	比率
1年未満	1.28%
1～3年	28.37%
3～7年	34.09%
7～10年	13.77%
10年以上	22.17%

上位10銘柄※

銘柄名	比率	通貨	残存年数
アメリカ国債 1.500% 2027/1/31	0.82%	USD	1.18
アメリカ国債 4.250% 2029/2/28	0.79%	USD	3.25
中国国債 2.750% 2029/6/15	0.74%	CNY	3.55
アメリカ国債 1.625% 2029/8/15	0.72%	USD	3.71
アメリカ国債 0.625% 2027/11/30	0.71%	USD	2.01
アメリカ国債 1.125% 2027/2/28	0.69%	USD	1.25
アメリカ国債 2.375% 2027/5/15	0.68%	USD	1.46
アメリカ国債 1.750% 2029/1/31	0.63%	USD	3.18
アメリカ国債 0.375% 2027/9/30	0.62%	USD	1.84
アメリカ国債 4.250% 2026/12/31	0.62%	USD	1.09

※マザーファンド純資産総額対比

基準価額騰落率	設定来	1年間
（税引前分配金込）	136.03%	10.87%
騰落率		
	ファンド	ベンチマーク
1ヶ月	2.08%	2.11%
3ヶ月	8.00%	8.12%
6ヶ月	12.33%	12.53%
1年	10.87%	11.29%
2年	17.49%	18.35%
3年	27.05%	28.50%
設定来	136.03%	156.58%

○本資料は金融商品取引法上及び投信法上の開示書類ではありません。

○本資料は、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社（以下「弊社」とします）が当ファンドの情報提供を目的として作成したものであり、投資の勧誘を目的とするものではありません。

○本資料中の過去の運用実績に関するグラフ・数値等は将来の成果をお約束するものではありません。また、市場概況等は本資料作成時点の弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。

○本資料の内容は作成日現在のものであり、将来予告なく変更することがあります。

○当ファンドは主に外国の公社債に投資するため、組入れた公社債の値動きおよび為替変動により基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託の商品特性上、上記以外のリスクもあります。

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧くださいにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

ジャナス・フレキシブル・インカム・ファンド

ダブルウィング

ファンドの主な特徴

当ファンドは、アンダーライニング・ファンド^{*}への投資を通して、米国債券を実質的な主要投資対象とします。

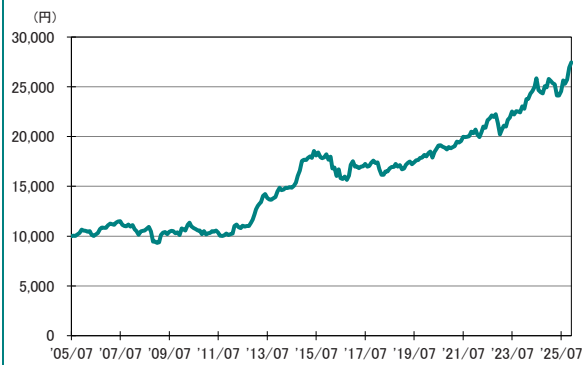
- ① 主に米国の債券に投資し、利子収入と値上がり益の獲得による、トータル・リターン^{*}の最大化を目指します。
- ② 市場環境の変化をとりえ、米国の国債、モーゲージ債、投資適格社債、ハイイールド債などへの投資比率を機動的に変更します。
- ③ 独自のポートフォリオ分析と徹底したリスク管理により、投資リスクの低減を重視した運用を行います。

^{*} 当ファンドのアンダーライニング・ファンドは、ジャナス・ヘンダーソン・キャピタル・ファンド ジャナス・ヘンダーソン・フレキシブル・インカム・ファンドです。

基準価額 (2025年11月30日現在) 27,442円

基準価額の推移

(2025年11月30日現在)



運用実績

(2025年11月30日現在)

	1カ月	3カ月	6カ月	1年	設定来
ファンド	1.91%	8.46%	13.75%	10.06%	174.42%

当ファンドの基準価額と運用実績は管理報酬等控除後のものです。

ファンドの概要

(2025年10月31日現在)

形態	アイルランド籍オープンエンド契約型外国投資信託
設定日	2005年7月1日
純資産総額	519百万米ドル
保有銘柄数	550銘柄
平均クーポン	4.90%
直接利回り	6.73%
最終利回り	5.17%
実効デュレーション	5.92年
現預金等比率	0.96%

社債組入上位10銘柄 (対組入債券時価総額)

(2025年10月31日現在)

銘柄	利率 ^{*1}	満期(年/月/日) ^{*1}	業種 ^{*2}	比率 ^{*4}
ブーズ・アレン・ハミルトン	5.950%	2035/04/15	その他産業	1.06%
エイリス・キャピタル	5.100%	2031/01/15	金融会社	0.73%
シティグループ	5.592%	2034/11/19	銀行	0.72%
ウェルズ・ファーゴ	5.244%	2031/01/24	銀行	0.62%
ロケット・カンパニーズ	6.375%	2033/08/01	金融会社	0.60%
モルガン・スタンレー・プライベート・バンク	4.734%	2031/07/18	銀行	0.60%
コアウィーブ	9.000%	2031/02/01	テクノロジー	0.58%
センチーン	4.250%	2027/12/15	保険	0.58%
ボンバルディア	7.450%	2034/05/01	資本財	0.55%
バンク・オブ・アメリカ	5.744%	2036/02/12	銀行	0.53%
上位10銘柄の合計				6.56%

地域別構成比率

(2025年10月31日現在)

地域	対組入証券時価総額
北米	95.54%
ヨーロッパ	1.88%
アジア・太平洋	0.36%
その他	2.22%

^{*1} 割引債など利率が無い銘柄、永久債など満期の無い銘柄は「—」で表示しています。^{*2} 業種は、ブルームバーグ債券インデックスの分類に基づきます。^{*3} 主要格付機関による格付けの中間値。

表記方法はS&Pに準じています。

^{*4} 小数点以下第3位で四捨五入して表示しているため、合計は必ずしも一致しません。

資産別構成比率

(2025年10月31日現在)

資産別	対純資産総額
国債	10.41%
政府関連債	—
モーゲージ債等	38.07%
投資適格社債	23.82%
ハイイールド債	16.57%
その他	10.17%
現預金等	0.96%

格付別構成比率^{*3}

(2025年10月31日現在)

格付	対組入債券時価総額
AAA格	16.09%
AA格	35.98%
A格	8.20%
BBB格	20.18%
BB格	12.63%
B格	3.89%
CCC格以下	—
格付けなし	3.03%

運用コメント

(2025年10月31日現在)

【市場概況】 10月の米国債券市場では、長期金利が若干低下しました。社債や証券化商品の信用スプレッド(国債利回りに対する上乗せ利回り)は、一部を除きやや拡大しましたが、インカム収益に支えられてトータルリターンは概ね堅調となりました。上旬は、米政府機関の一部閉鎖が長期化していることや、米中関係の悪化が懸念されたことを受けて米国債にリスク回避の買いが広がり、長期金利は低下しました。中旬は、引き続き米中の貿易問題を巡る対立が警戒されたことや、米連邦準備制度理事会(FRB)による年内の利下げ観測が高まったことを背景に、長期金利は緩やかに低下し、4%付近で推移しました。下旬は、金利が小幅に推移する中、29日に開催された米連邦公開市場委員会(FOMC)で市場予想通り0.25%の利下げが決定されましたが、パウエル議長が12月の利下げは既定路線でないと発言したことから、月末にかけて長期金利は上昇しました。

【運用概況】 当月の当ファンドのリターンは米ドルベースでプラスとなりました。債券市場が堅調に推移した中、すべての債券種別がプラスに寄与し、特にモーゲージ債が大きくプラスに貢献しました。業種別では、テクノロジーなど一部のセクターは若干マイナスに影響しましたが、電力やミッドストリーム(エネルギー)をはじめ、多くのセクターがプラスに寄与しました。

【運用方針】 米国では、トランプ関税による価格転嫁が進む可能性はあるものの、FRBによる利下げや米政府による減税政策などが景気を下支えていくと考えています。今後の利下げのタイミングは、インフレ動向や経済指標次第であると考えられますが、仮に労働市場が急速に悪化した場合には、FRBには積極的に利下げを行う余地があると見ています。社債や証券化商品については、堅調な企業業績などを背景に信用スプレッドが過去と比べてタイトな水準まで縮小しており、割高感が警戒されています。このような環境下、インカムの確保と下落リスクの抑制を意識した運用が必要になると考えますが、高水準のインカムを確保したい投資家からの需要は継続すると見ています。債券種別では、証券化商品は信用スプレッドがタイト化している一方、スプレッド水準が社債対比で魅力的、かつ高い格付けを有することから選好しています。また、景気に対する不透明感が広がっている中、債券はポートフォリオのリスク分散の観点からも重要な役割を果たすと考えられます。今後も銘柄選択と債券種別の分散を重視しながら、機動的に資産配分を調整し、リスク調整後リターンの獲得を目指す方針です。

上記運用コメントは実質的な運用を行うアンダーライニング・ファンドに係る説明を含みます。当資料は作成時点の見解であり、将来の市場環境の変動等により上記運用方針が変更される場合があります。

「基準価額」、「基準価額の推移」、「運用実績」、「ファンドの概要」のうち「形態」および「設定日」を除く情報は、アンダーライニング・ファンドのものであります。

当資料中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、提供された情報の正確性、完全性、適時性について保証するものではなく、それを使用したことによる結果について何ら保証するものではありません。当資料中の情報は、示された日付現在までのみ更新されたものです。いかなる分析、意見、試算、または予測についても、予告なくこれを変更することがあります。当資料は、ファンドの運用状況の情報提供を目的に、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・ヨーロッパ・エスエーが作成したものであり、有価証券についての投資助言または有価証券の売買の募集・勧誘をするものではありません。

特別勘定の名称：ジャナス外国債券ハイイールド

ジャナス・ハイイールド・ファンド

ダブルウィング

ファンドの主な特徴

当ファンドは、アンダーライニング・ファンド^{*}への投資を通して、米国ハイイールド債を実質的な主要投資対象とします。

- ① 主に米国のハイイールド(高利回り)債に投資し、高水準の利子収入と値上がり利益の獲得を目指します。
- ② 多角的に企業の調査・分析を行い、社債銘柄を選別し投資します。
- ③ 独自のポートフォリオ分析と徹底したリスク管理により、投資リスクの低減を重視した運用を行います。

^{*} 当ファンドのアンダーライニング・ファンドは、ジャナス・ヘンダーソン・キャピタル・ファンド ジャナス・ヘンダーソン・ハイイールド・ファンドです。

基準価額 (2025年11月30日現在) 40,663円

基準価額の推移

(2025年11月30日現在)



運用実績

(2025年11月30日現在)

	1か月	3か月	6か月	1年	設定来
ファンド	1.80%	8.29%	15.05%	12.43%	306.63%

当ファンドの基準価額と運用実績は管理報酬等控除後のものです。

ファンドの概要

(2025年10月31日現在)

形態	アイルランド籍オープンエンド契約型外国投資信託
設定日	2005年7月1日
純資産総額	342百万米ドル
保有銘柄数	169銘柄
平均クーポン	7.23%
直接利回り	8.66%
最終利回り	7.15%
実効デュレーション	2.85年
現預金等比率	0.52%

社債組入上位10銘柄 (対組入債券時価総額)

(2025年10月31日現在)

銘柄	利率 ^{*1}	満期(年/月/日) ^{*1}	業種 ^{*2}	比率 ^{*4}
トルガス・エナジー・パートナーズ/ファイナンス	6.750%	2034/03/15	エネルギー	2.06%
キオクシアホールディングス	6.625%	2033/07/24	テクノロジー	2.06%
ガルダ・ワールド・セキュリティ	6.000%	2029/06/01	景気循環消費財	1.73%
ライフポイント・ヘルス	10.000%	2032/06/01	非景気循環消費財	1.62%
ジェン・ストリート・グループ/JSG ファイナンス	6.125%	2032/11/01	証券仲介・資産運用・取引所	1.59%
スター・ベアレント	9.000%	2030/10/01	非景気循環消費財	1.54%
シーザーズ・エンターテインメント	6.000%	2032/10/15	景気循環消費財	1.53%
ハワード・ミッドストリーム・エナジー	6.625%	2034/01/15	エネルギー	1.51%
ファースト・クワンタム・ミネラルズ	8.000%	2033/03/01	素材	1.46%
ステーション・カジノズ	4.625%	2031/12/01	景気循環消費財	1.36%
上位10銘柄の合計				16.47%

地域別構成比率

(2025年10月31日現在)

地域別構成比率 (対組入証券時価総額)	
北米	90.23%
ヨーロッパ	2.78%
アジア・太平洋	3.12%
その他	3.87%

社債組入上位5業種^{*2}

(2025年10月31日現在)

社債組入上位5業種 ^{*2} (対組入債券時価総額)	
景気循環消費財	24.78%
テクノロジー	10.47%
エネルギー	9.43%
通信	7.75%
素材	7.66%

格付別構成比率^{*3}

(2025年10月31日現在)

格付別構成比率 ^{*3} (対組入債券時価総額)	
AAA格	—
AA格	—
A格	—
BBB格	—
BB格	34.47%
B格	53.13%
CCC格以下	9.11%
格付けなし	3.29%

- ^{*1} 割引債など利率が無い銘柄、永久債など満期の無い銘柄は「—」で表示しています。
^{*2} 業種は、ブルームバーグ債券インデックスの分類に基づきます。
^{*3} 主要格付機関による格付けの中間値。表記方法はS&Pに準じています。
^{*4} 小数点以下第3位で四捨五入して表示しているため、合計は必ずしも一致しません。

運用コメント

(2025年10月31日現在)

【市場概況】 10月の米国ハイイールド債市場のトータルリターンは上昇しました。当月、米国ハイイールド債の信用スプレッド(国債利回りに対する上乗せ利回り)は拡大しましたが、インカム収益がトータルリターンを支えました。米国ハイイールド債市場は、月初は米政府機関閉鎖の長期化が懸念された一方、米連邦準備制度理事会(FRB)による追加利下げへの期待が高まったことなどから小動きで推移しました。しかし、その後トランプ米大統領が対中関税の大幅引き上げを検討していると伝えられたことから、米中貿易摩擦への警戒感が高まり、月半ばにかけて下落しました。月後半は、米消費者物価指数(CPI)の下振れを受けて利下げ観測が再び強まったことや、米中貿易摩擦への懸念が一服したことなどを受けて米国ハイイールド債市場のトータルリターンは堅調に推移しました。また、米国企業の決算が概ね好調だったことも当月のハイイールド債市場を支えました。

【運用概況】 当月の当ファンドのリターンは米ドルベースでプラスとなりました。業種別では、テクノロジーや有線通信セクターなどがプラスに寄与した一方、医薬品や住宅建設セクターなどはマイナスに影響しました。

【運用方針】 米国では、トランプ関税による価格転嫁が進む可能性はあるものの、FRBによる利下げや米政府による減税政策などが景気を下支えしていくと考えています。今後の利下げのタイミングはインフレ動向や経済指標次第であると考えられますが、仮に労働市場が急速に悪化した場合は、FRBには積極的に利下げを行う余地があると見ています。

米国経済は底堅く推移しており、米国企業の財務内容も概ね健全であることを背景に、社債の信用スプレッドは過去と比べてタイトな水準に縮小しています。こうした中、景気動向の変化には注意が必要ですが、米国ハイイールド債市場にはより高い利回りを確保したい投資家からの需要が継続すると見ています。業種については、設備投資が拡大している人工知能(AI)関連の銘柄や、AI市場の成長を背景に需要が増加している電力関連の銘柄に注目しています。また、世界各地で開発が進むカジノ・セクターも選好しています。景気に対する不透明感は広がりつつあるものの、金利が大きく変動する局面は、割安な銘柄に投資する好機となると考えています。今後も徹底したボトムアップ・リサーチと厳格なリスク管理によって、リスクを抑制しつつリターンの獲得を目指す方針です。

上記運用コメントは実質的な運用を行うアンダーライニング・ファンドに係る説明を含みます。当資料は作成時点の見解であり、将来の市場環境の変動等により上記運用方針が変更される場合があります。

「基準価額」、「基準価額の推移」、「運用実績」、「ファンドの概要」のうち「形態」および「設定日」を除く情報は、アンダーライニング・ファンドのものであり、当資料中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他のいかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、提供された情報の正確性、完全性、適時性について保証するものではなく、それを使用したことによる結果について何ら保証するものではありません。当資料中の情報は、示された日付現在までのみ更新されたものです。いかなる分析、意見、試算、または予測についても、予告なくこれを変更することがあります。当資料は、ファンドの運用状況の情報提供を目的に、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・ヨーロッパ・エスエーが作成したものであり、有価証券についての投資助言または有価証券の売買の募集・勧誘をするものではありません。

YW-1125 (35) 1225 Japan Comp

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧くださいにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

SMAM・バランスファンドVA25,50,75

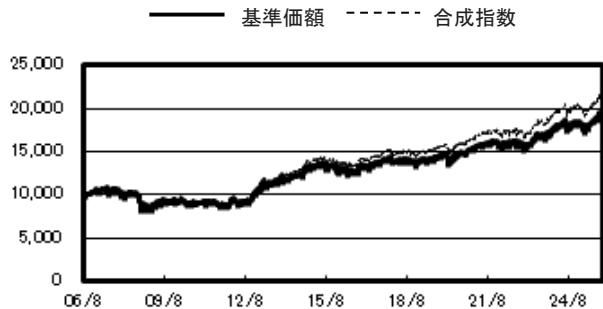
ダブルウィング

■このレポートは、三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。■この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者、許諾者に帰属します。



【SMAM・バランスファンドVA25】

● 設定来の運用実績



■ 基準価額は、2006年8月31日を10000とした指数として表示しております。
 ■ 合成指数は、2006年8月31日を10000として、TOPIX（東証株価指数、配当込み）、NOMURA-BPI（総合）、MSCIコクサイインデックス（配当込み、円ベース）、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）の日々の収益率を当ファンドの基本資産配分で加重平均し、当社が独自に指数化しております。
 ■ 上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

● 騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	設定来*
ファンド	0.62%	4.97%	8.74%	7.62%	95.44%
合成指数	0.67%	5.14%	9.04%	8.28%	116.75%

※ 騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後です。

上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。

* 設定来は2006年8月31日を基準とします。

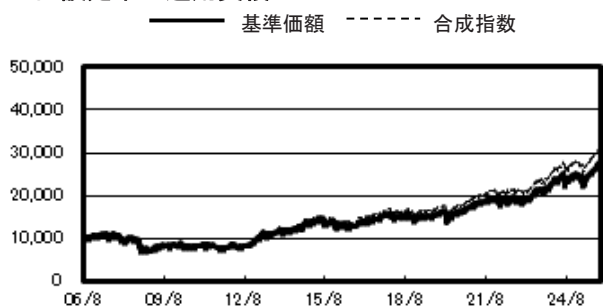
● マザーファンド組入比率

(2025年11月28日現在)

	ファンド	基本資産配分
国内株式	15.0%	15.0%
外国株式	10.2%	10.0%
株式合計	25.2%	25.0%
国内債券	39.4%	40.0%
外国債券	35.1%	35.0%
債券合計	74.6%	75.0%

【SMAM・バランスファンドVA50】

● 設定来の運用実績



■ 基準価額は、2006年8月31日を10000とした指数として表示しております。
 ■ 合成指数は、2006年8月31日を10000として、TOPIX（東証株価指数、配当込み）、NOMURA-BPI（総合）、MSCIコクサイインデックス（配当込み、円ベース）、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）の日々の収益率を当ファンドの基本資産配分で加重平均し、当社が独自に指数化しております。
 ■ 上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

● 騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	設定来*
ファンド	1.01%	7.29%	13.79%	13.50%	176.26%
合成指数	1.03%	7.33%	13.92%	14.22%	209.93%

※ 騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後です。

上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。

* 設定来は2006年8月31日を基準とします。

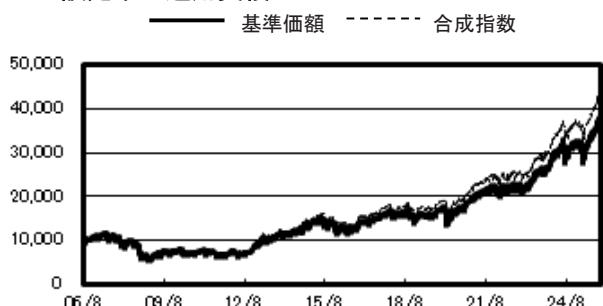
● マザーファンド組入比率

(2025年11月28日現在)

	ファンド	基本資産配分
国内株式	25.5%	25.0%
外国株式	25.7%	25.0%
株式合計	51.3%	50.0%
国内債券	22.7%	25.0%
外国債券	25.6%	25.0%
債券合計	48.3%	50.0%

【SMAM・バランスファンドVA75】

● 設定来の運用実績



■ 基準価額は、2006年8月31日を10000とした指数として表示しております。
 ■ 合成指数は、2006年8月31日を10000として、TOPIX（東証株価指数、配当込み）、NOMURA-BPI（総合）、MSCIコクサイインデックス（配当込み、円ベース）、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）の日々の収益率を当ファンドの基本資産配分で加重平均し、当社が独自に指数化しております。
 ■ 上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

● 騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	設定来*
ファンド	1.46%	9.83%	19.43%	20.34%	279.17%
合成指数	1.54%	10.02%	19.79%	21.18%	335.90%

※ 騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後です。

上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。

* 設定来は2006年8月31日を基準とします。

● マザーファンド組入比率

(2025年11月28日現在)

	ファンド	基本資産配分
国内株式	35.1%	35.0%
外国株式	40.2%	40.0%
株式合計	75.2%	75.0%
国内債券	4.8%	5.0%
外国債券	19.6%	20.0%
債券合計	24.4%	25.0%

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧くださいにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

■このレポートは、三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。■この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者、許諾者に帰属します。

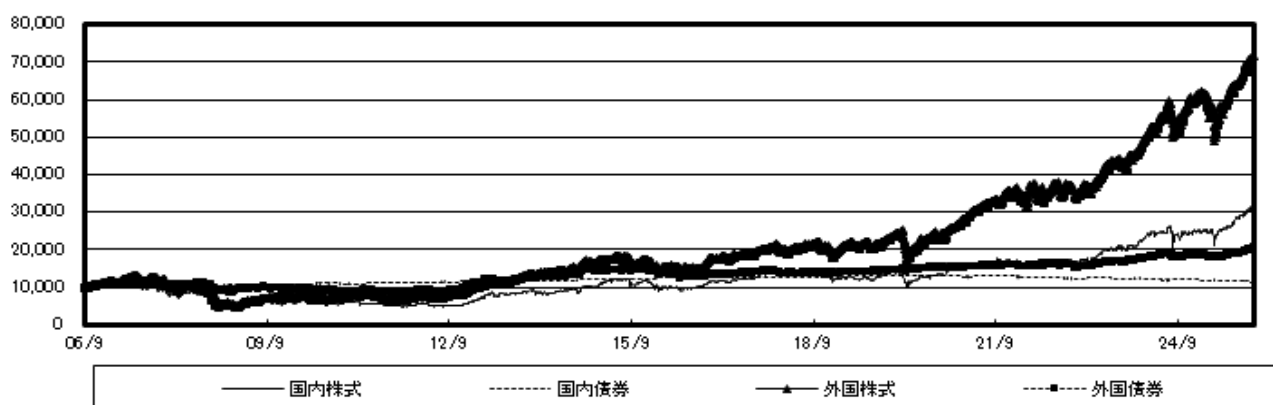


〈参考情報 SMAM・バランスファンドVA25、50、75〉

◎ SMAM・バランスファンドVA25、50、75は次のマザーファンドを主要投資対象とするファミリーファンド方式で運用されています。

- 国内株式 … 国内株式インデックス・マザーファンド(B号)
- 国内債券 … 国内債券パッシブ・マザーファンド
- 外国株式 … 外国株式インデックス・マザーファンド
- 外国債券 … 外国債券パッシブ・マザーファンド

● マザーファンドの基準価額の推移



■ 各マザーファンドの基準価額は、2006年8月31日を10000とした指数として表示しております。
 ■ 上記グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。

● 騰落率

		1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	設定来	
国内株式	ファンド	1.42%	10.92%	21.97%	29.22%	214.57%	*1…TOPIX(東証株価指数、配当込み)
	ベンチマーク*1	1.42%	10.92%	21.95%	29.17%	212.87%	
国内債券	ファンド	-1.14%	-1.04%	-1.81%	-4.93%	13.94%	*2…NOMURA-BPI(総合)
	ベンチマーク*2	-1.13%	-1.05%	-1.85%	-4.95%	13.79%	
外国株式	ファンド	1.58%	11.43%	24.20%	21.44%	614.49%	*3…MSCIコクサイインデックス(配当込み、円ベース)
	ベンチマーク*3	1.61%	11.46%	24.32%	21.75%	635.68%	
外国債券	ファンド	2.11%	8.07%	12.49%	11.27%	104.59%	*4…FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)
	ベンチマーク*4	2.11%	8.12%	12.53%	11.28%	106.59%	

※ 設定来は2006年8月31日を基準とします。
 上記騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

※「シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)」は、「FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)」に名称変更されました。
 ※「Citigroup Index LLC」は、「FTSE Fixed Income LLC」に名称変更されました。

● マザーファンド純資産総額

(2025年11月28日現在)

	純資産総額(百万円)
国内株式	484,931
国内債券	139,404
外国株式	1,212,994
外国債券	217,791

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧くださいにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

SMAM・バランスファンドVA25,50,75のマザーファンド

ダブルウィング

■このレポートは、三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。■このレポートの内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、その正確性・完全性を保証するものではありません。■運用実績等に関するグラフ・数値等は過去の実績を示すものであり将来の運用成果をお約束するものではありません。■この資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者、許諾者に帰属します。



〈参考情報 SMAM・バランスファンドVA25, 50, 75〉 マザーファンドの状況(2025年11月28日現在)

【国内株式】

マザーファンド名：国内株式インデックス・マザーファンド(B号)

● 組入上位10銘柄

	銘柄名	比率
1	トヨタ自動車	3.4%
2	ソニーグループ	3.2%
3	三菱UFJフィナンシャル・グループ	3.1%
4	日立製作所	2.6%
5	三井住友フィナンシャルグループ	2.1%
6	任天堂	1.7%
7	ソフトバンクグループ	1.7%
8	三菱商事	1.6%
9	みずほフィナンシャルグループ	1.6%
10	三菱重工業	1.5%

※マザーファンド純資産総額対比 (組入全銘柄数 1,616)

● 組入上位10業種

	業種名	比率
1	電気機器	18.5%
2	銀行業	9.8%
3	卸売業	7.5%
4	情報・通信業	7.3%
5	輸送用機器	6.8%
6	機械	6.0%
7	小売業	4.6%
8	化学	4.5%
9	医薬品	3.8%
10	サービス業	3.6%

※マザーファンド現物株式評価額対比

【外国株式】

マザーファンド名：外国株式インデックス・マザーファンド

● 組入上位10銘柄

	銘柄名	国名	業種	比率
1	NVIDIA CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	5.6%
2	APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア・機器	5.3%
3	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	4.4%
4	AMAZON.COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス流通・小売り	2.8%
5	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	メディア・娯楽	2.4%
6	BROADCOM INC	アメリカ	半導体・半導体製造装置	2.3%
7	ALPHABET INC-CL C	アメリカ	メディア・娯楽	2.0%
8	META PLATFORMS INC-CLASS A	アメリカ	メディア・娯楽	1.8%
9	TESLA INC	アメリカ	自動車・自動車部品	1.5%
10	ELI LILLY & CO	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	1.1%

※マザーファンド純資産総額対比 (組入全銘柄数 1,141)

● 国別投資比率

国名	比率
アメリカ	74.3%
イギリス	3.7%
カナダ	3.6%
スイス	2.7%
フランス	2.5%
その他	13.2%

※マザーファンド株式評価額対比

【国内債券】

マザーファンド名：国内債券パッシブ・マザーファンド

● 債券種別構成

国債	80.9%
政府保証債	1.9%
地方債	7.8%
金融債	0.0%
事業債	8.2%
円建外債	0.0%
その他	1.2%

※マザーファンド債券評価額対比

● 残存年限別構成

1年未満	0.8%
1-3年	19.4%
3-5年	18.4%
5-7年	11.6%
7-10年	18.0%
10年以上	31.8%

※マザーファンド債券評価額対比

● 組入上位10銘柄

	銘柄名	比率
1	474 2年国債	3.8%
2	379 10年国債	1.2%
3	380 10年国債	1.2%
4	181 5年国債	1.1%
5	368 10年国債	1.1%
6	376 10年国債	1.1%
7	378 10年国債	1.0%
8	177 5年国債	1.0%
9	361 10年国債	1.0%
10	366 10年国債	0.9%

※マザーファンド純資産総額対比 (組入全銘柄数 444)

【外国債券】

マザーファンド名：外国債券パッシブ・マザーファンド

● 通貨別構成

アメリカドル	46.3%
ユーロ	29.4%
中国元(オフショア)	11.7%
イギリスポンド	5.7%
カナダドル	2.0%
その他	4.9%

※マザーファンド債券評価額対比

● 残存年限別構成

1年未満	0.8%
1-3年	28.8%
3-7年	34.5%
7-10年	13.6%
10年以上	22.3%

※マザーファンド債券評価額対比

● 組入上位10銘柄

	銘柄名	通貨	比率
1	CHINA GOVERNMENT BOND 1.79 03/25/32	中国元(オフショア)	0.6%
2	CHINA GOVERNMENT BOND 2.04 02/25/27	中国元(オフショア)	0.6%
3	CHINA GOVERNMENT BOND 2.39 11/15/26	中国元(オフショア)	0.6%
4	CHINA GOVERNMENT BOND 3.72 04/12/51	中国元(オフショア)	0.6%
5	CHINA GOVERNMENT BOND 1.46 05/25/28	中国元(オフショア)	0.5%
6	US TREASURY N/B 3.875 05/31/27	アメリカドル	0.5%
7	US TREASURY N/B 4.625 02/15/35	アメリカドル	0.4%
8	US TREASURY N/B 4.25 11/30/26	アメリカドル	0.4%
9	US TREASURY N/B 4.25 05/15/35	アメリカドル	0.4%
10	US TREASURY N/B 3.875 08/15/34	アメリカドル	0.4%

※マザーファンド純資産総額対比 (組入全銘柄数 905)

この保険のご留意いただきたい内容については、巻頭に「特別勘定運用レポートをご覧くださいにあたって」の記載がございますので、必ずご確認ください。

ファンドの主な特徴

当ファンドは、アンダーライニング・ファンド^{*}への投資を通して、米国株式と米国債券を実質的な主要投資対象とします。

- ① 主に米国の株式と債券に分散投資を行います。
- ② 市場環境に応じて株式と債券の投資比率を機動的に変更し、長期的に安定したトータル・リターンを獲得を目指します。
- ③ 株式と債券のアナリストのリサーチ力を融合し、個別企業の調査・分析に基づき、魅力的な投資機会を追求します。

^{*} 当ファンドのアンダーライニング・ファンドは、ジャナス・ヘンダーソン・キャピタル・ファンド ジャナス・ヘンダーソン・バランス・ファンドです。

基準価額 (2025年11月30日現在) 64,899円

基準価額の推移

(2025年11月30日現在)



運用実績

(2025年11月30日現在)

	1か月	3か月	6か月	1年	設定来
ファンド	1.42%	10.49%	20.73%	16.88%	548.99%

当ファンドの基準価額と運用実績は管理報酬等控除後のものです。

地域別構成比率

(2025年10月31日現在)

地域別構成比率 (対組入証券時価総額)	
北米	98.40%
ヨーロッパ	0.67%
アジア・太平洋	0.07%
その他	0.86%

- ^{*}1 業種は、GICS(世界産業分類基準)に基づきます。
^{*}2 割引債など利率が無い銘柄は「-」で表示しています。
^{*}3 業種は、ブルームバーグ債券インデックスの分類に基づきます。
^{*}4 小数点以下第3位で四捨五入して表示しているため、合計は必ずしも一致しません。

資産別構成比率

(2025年10月31日現在)

資産別構成比率 (対純資産総額)	
株式	63.40%
国債	7.15%
政府関連債	-
モーゲージ債等	11.47%
投資適格社債	9.53%
ハイイールド債	2.46%
その他	4.12%
現金金等	1.87%

株式組入上位5業種^{*}1

(2025年10月31日現在)

株式組入上位5業種 [*] 1 (対組入株式時価総額)	
情報技術	37.20%
金融	16.08%
ヘルスケア	12.32%
コミュニケーション・サービス	11.96%
一般消費財・サービス	11.05%

ファンドの概要

(2025年10月31日現在)

形態	アイルランド籍オープンエンド契約型外国投資信託
設定日	2005年7月1日
純資産総額	10,750百万米ドル
保有銘柄数	678銘柄

株式組入上位5銘柄 (対組入株式時価総額)

(2025年10月31日現在)

銘柄	業種 [*] 1	比率 [*] 4
エスビディア	情報技術	10.45%
マイクロソフト	情報技術	8.60%
アルファベット	コミュニケーション・サービス	6.01%
アマゾン・ドット・コム	一般消費財・サービス	5.26%
アップル	情報技術	5.00%
上位5銘柄の合計		35.32%

社債組入上位5銘柄 (対組入債券時価総額)

(2025年10月31日現在)

銘柄	利率 [*] 2	満期(年/月/日)	業種 [*] 3	比率 [*] 4
バンク・オブ・アメリカ	5.744%	2036/02/12	銀行	0.75%
CBREサービシズ	5.950%	2034/08/15	景気循環消費財	0.59%
チャーター・コミュニケーションズ	6.650%	2034/02/01	通信	0.58%
ロケット・カンパニーズ	6.375%	2033/08/01	金融会社	0.57%
エーオン	5.450%	2034/03/01	保険	0.54%
上位5銘柄の合計				3.03%

運用コメント

(2025年10月31日現在)

【市場概況】 10月の米国株式市場は月間で上昇しました。上旬は、米雇用関連指標が市場予想を下回ったことで米連邦準備制度理事会(FRB)による追加利下げ観測が強まり、上昇基調で推移しました。その後、米中貿易摩擦への懸念が高まり一時的に下落しましたが、中旬は懸念が一服したことなどから堅調に推移しました。下旬は、追加利下げの期待が高まったことや、主要企業の好決算などを受けて続伸しました。米国債券市場では、月間で長期金利がやや低下しました。上旬は、米政府機関の一部閉鎖や、米中関係の悪化が懸念されて長期金利は低下しました。中旬は、追加利下げ観測が高まったことを背景に、長期金利は緩やかに低下しました。下旬は、米連邦公開市場委員会(FOMC)で0.25%の利下げが決定されましたが、パウエル議長が12月の利下げは既定路線でないと発言したこと、月末にかけて長期金利は上昇しました。

【運用概況】 当月の当ファンドのリターンは米ドルベースでプラスとなりました。株式部分では、情報技術やヘルスケア・セクターなどがプラスに寄与した一方、金融セクターなどはマイナスに影響しました。債券部分では、すべての債券種別がプラスに寄与し、特にモーゲージ債や国債が大きくプラスに貢献しました。

【運用方針】 当ファンドでは、米国経済に対し良好な見通しを維持しています。テクノロジーへの投資拡大や、利下げ、減税政策などが景気を下支えすると考えています。株式市場においては、人工知能(AI)への設備投資が急速に拡大していることが株価を押し上げています。AIの活用による生産性の向上やコスト削減により、収益増加を実現している企業も数多く見受けられることから、当ファンドではこうした企業の見極めに注力しています。また、労働市場の軟化や関税引き上げの影響には注意が必要ですが、労働者の賃金が堅調であることや、減税政策が個人消費を後押しすると見ています。債券市場においては、底堅い企業業績や個人消費のほか、高水準のインカムを確保したい投資家からの需要を背景に、社債や証券化商品には依然として魅力的な投資機会があると見ています。中でも証券化商品は、足元の投資環境下、信用スプレッド(国債利回りに対する上乗せ利回り)水準が社債対比で魅力的で、かつ高い格付けを有することから選好しています。また、米国での財政赤字拡大などを受けて長期金利の高止まりが懸念される一方、利下げにより短期金利は低下すると予想されることから、当ファンドでは短期年限の債券を多めに保有しています。今後も機動的に資産配分を調整し、良好なリスク調整後リターンの獲得を目指す方針です。

上記運用コメントは実質的な運用を行うアンダーライニング・ファンドに係る説明を含みます。当資料は作成時点の見解であり、将来の市場環境の変動等により上記運用方針が変更される場合があります。

「基準価額」、「基準価額の推移」、「運用実績」、「ファンドの概要」のうち「形態」および「設定日」を除く情報は、アンダーライニング・ファンドのものであります。

当資料中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、提供された情報の正確性、完全性、適時性について保証するものではなく、それを使用したことによる結果について何ら保証するものではありません。当資料中の情報は、示された日付現在までのみ更新されたものです。いかなる分析、意見、試算、または予測についても、予告なくこれを変更することがあります。当資料は、ファンドの運用状況の情報提供を目的に、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・ヨーロッパ・エスエーが作成したものであり、有価証券についての投資助言または有価証券の売買の募集・勧誘をするものではありません。

ファンドの主な特徴

当ファンドは、アンダーライニング・ファンド^{*}への投資を通して、世界の不動産関連証券を実質的な主要投資対象とします。

- ① 主に世界のREIT(不動産投資信託)および不動産関連株式に投資します。
- ② 安定した配当収益の獲得と、長期(5年以上)にわたる証券価格の上昇を目指します。
- ③ 世界経済の構造的変化を捉え、成長性が高いと判断する業種や銘柄を見極め、投資します。

^{*} 当ファンドのアンダーライニング・ファンドは、ジャナス・ヘンダーソン・キャピタル・ファンド ジャナス・ヘンダーソン・グローバル・リアルエステート・エクイティ・インカム・ファンドです。

基準価額 (2025年11月30日現在) 33,415円

基準価額の推移 (2025年11月30日現在)



運用実績 (2025年11月30日現在)

	1カ月	3カ月	6カ月	1年	設定来
ファンド	3.52%	6.64%	14.67%	5.28%	234.15%

当ファンドの基準価額と運用実績は管理報酬等控除後のものです。

地域別構成比率 (2025年10月31日現在)

(対組入証券時価総額)	
北米	73.24%
アジア・太平洋	17.95%
ヨーロッパ	8.81%
その他	—

種別構成比率 (2025年10月31日現在)

(対組入株式時価総額)	
米国REIT	73.23%
非米国REIT	25.39%
米国不動産関連株式	—
非米国不動産関連株式	1.38%

REIT組入上位5業種^{*1} (2025年10月31日現在)

(対組入株式時価総額)	
店舗用REIT	23.43%
工業用REIT	18.26%
ヘルスケアREIT	17.73%
データセンターREIT	7.18%
各種REIT	6.78%

^{*1} 業種は、GICS(世界産業分類基準)に基づきます。

^{*2} 小数点以下第3位で四捨五入して表示しているため、合計は必ずしも一致しません。

運用コメント

(2025年10月31日現在)

【市場概況】 10月の世界のREITおよび不動産関連株式市場は下落しました。米国市場は下落しました。上旬は、月初に発表された雇用関連指標が労働市場の減速を示唆したことで利下げ観測が強まったものの、米政府機関の一部閉鎖が長引く可能性や米中貿易摩擦への警戒感が重しとなり、市場は下落しました。中旬以降は、米地銀の不正融資問題が嫌気される場面もありましたが、米長期金利の低下や米中貿易摩擦に対する警戒感の後退、米消費者物価指数(CPI)の下振れを受けて利下げ観測が再び強まったことなどをを受けて、市場は上昇基調で推移しました。しかし、28日-29日に開催された米連邦公開市場委員会(FOMC)での利下げ決定後、米連邦準備制度理事会(FRB)のパウエル議長が追加利下げは既定路線ではないとの認識を示したことで利下げ継続期待が後退し、市場は大きく下落しました。欧州市場は上昇しました。財政や予算案を巡る懸念が和らぎインフレが緩和傾向にある英国が好調だったほか、大型のM&A(合併・買収)案件などがプラス材料となりました。国・地域別では、スペインやシンガポールなどが上昇した一方、オランダやフランスなどは低調でした。業種別では、工業用REITやデータセンターREITなどが上昇した一方、集合住宅用REITやホテル・リゾートREITなどは低調でした。

【運用概況】 当月の当ファンドのリターンは米ドルベースでマイナスとなりました。米国を中心に多くの国・地域がマイナスに影響しました。業種別では、工業用REITや各種REITなどがプラスに寄与した一方、集合住宅用REITやその他の専門REITなどはマイナスに影響しました。

【運用方針】 マクロ経済の先行きには不透明感があるものの、世界のREITおよび不動産株式市場のファンダメンタルズは概ね堅調です。米国では、FRBによる利下げ再開により、資金調達コストの改善が期待されます。一部のセクターでは、根強い需要があるにもかかわらず、金利の高止まりなどの影響で新規の供給が抑制されており、不動産所有者は賃料の引き上げや稼働率の改善を通じて価格決定力を高めています。こうした環境下、当ファンドでは、強固なバランスシートと優れた経営陣を有し、優良物件を備え、安定した配当が見込める銘柄を好んで選んでいます。具体的には、電子商取引(Eコマース)の拡大に伴う物流施設の需要が高まっている工業用REITや、医療ニーズの高まりや高齢化といった構造的変化を支える医療施設や高齢者向け住宅などが挙げられます。これらの分野は、今後も中長期的に安定した成長が期待されます。今後も徹底したボトムアップ・リサーチにより、魅力的な投資機会の発掘に注力していく方針です。

上記運用コメントは実質的な運用を行うアンダーライニング・ファンドに係る説明を含みます。当資料は作成時点の見解であり、将来の市場環境の変動等により上記運用方針が変更される場合があります。

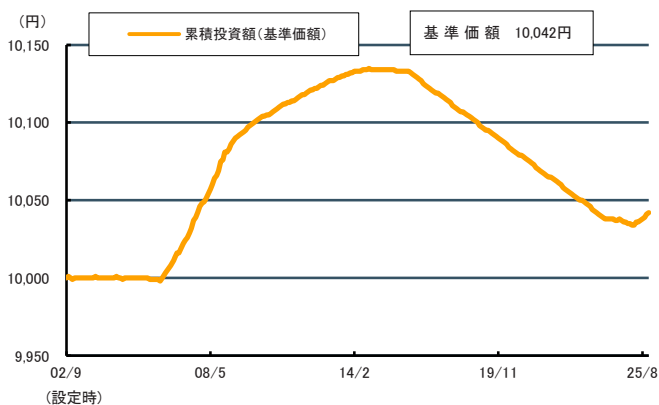
「基準価額」、「基準価額の推移」、「運用実績」、「ファンドの概要」のうちの「形態」および「設定日」を除く情報は、アンダーライニング・ファンドのものであります。

当資料中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、提供された情報の正確性、完全性、適時性について保証するものではなく、それを使用したことによる結果について何ら保証するものではありません。当資料中の情報は、示された日付現在までのみ更新されたものです。いかなる分析、意見、試算、または予測についても、予告なくこれを変更することがあります。当資料は、ファンドの運用状況の情報提供を目的に、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・ヨーロッパ・エスエーが作成したものであり、有価証券についての投資助言または有価証券の売買の募集・勧誘をするものではありません。

- ◆本邦通貨表示の公社債等を主要な投資対象とし、安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行ないます。

商品概要	
形態	追加型投信／国内／債券
投資対象	本邦通貨表示の公社債等
設定日	2002年9月20日
信託期間	原則無期限
決算日	原則、毎年11月30日(休業日のときは翌営業日)

設定来の運用実績 (2025年11月28日現在)



※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。

※当ファンドは、ベンチマークを設定していません。

※基準価額は運用管理費用控除後のものです。

※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

累積リターン (2025年11月28日現在)

	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	0.01%	0.04%	0.06%	0.06%	-0.11%	0.42%

※累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された収益率です。

過去5期分の収益分配金(1万口当たり／税込)

第19期(2020.11.30)	0円
第20期(2021.11.30)	0円
第21期(2022.11.30)	0円
第22期(2023.11.30)	0円
第23期(2024.12.02)	0円

組入上位10銘柄(マザーファンド・ベース) (2025年10月31日現在)

	銘柄	種類	格付	比率
1	1324国庫短期証券 2025/11/10	債券	A	23.5%
2	1334国庫短期証券 2026/01/07	債券	A	22.6%
3	1325国庫短期証券 2025/11/17	債券	A	17.4%
4	1329国庫短期証券 2025/12/08	債券	A	8.7%
5	1328国庫短期証券 2025/12/01	債券	A	7.0%
6	1335国庫短期証券 2026/01/13	債券	A	7.0%
7	1337国庫短期証券 2026/01/19	債券	A	3.1%
8	-	-	-	-
9	-	-	-	-
10	-	-	-	-

(組入銘柄数：7)

上位10銘柄合計 89.4%
(対純資産総額比率)

ポートフォリオの状況(マザーファンド・ベース)

(2025年10月31日現在)

資産別組入状況

債券	89.4%
CP	-
CD	-
現金・その他	10.6%

組入資産格付内訳

長期債券 格付	AAA/Aaa	-
	AA/Aa	-
	A	89.4%
短期債券 格付	A-1/P-1	-
	A-2/P-2	-
現金・その他		10.6%

平均残存日数	37.86日
平均残存年数	0.10年

格付は、S&P社もしくはムーディーズ社による格付を採用し、S&P社の格付を優先して採用しています。(「プラス/マイナス」の符号は省略しています。)なお、両社による格付のない場合は、「格付なし」に分類しています。

(対純資産総額比率)

* 各々のグラフ、表にある比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。

当資料は、情報提供を目的としたものであり、ファンドの推奨(有価証券の勧誘)を目的としたものではありません。本資料に記載の内容は将来の運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。当資料は、信頼できる情報をもとにフィデリティ投信が作成しておりますが、厳密な意味での正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。上記情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。

募集代理店

PRESTÍA

株式会社SMBC信託銀行

引受保険会社

三井住友海上プライマリー生命保険株式会社

〒103-0028 東京都中央区八重洲 1-3-7 八重洲ファーストフィナンシャルビル

資料請求・お問い合わせ

フリーダイヤル 0120-125-104

<https://www.ms-primary.com>